

平成29年度 事後事務事業評価シート

事業名	共進会・共励会事業		担当課・グループ	作成者（職・氏名）
			産業経済課農林業グループ	主事 高垣 勇太

1 基本事項

事業区分	事業開始年度	昭和35年度	事業主体	会計区分	予算科目			
	事業終了年度	平成37年度	とまこまい広域農業協同組合	一般	6	1	3	163
事業の性質	法令に基づかない自主的事業			条例等の有無	無			
根拠法令・例規 計画等								
総合計画	基本目標	みのり豊かなあつま						
	基本施策	農業の振興						
	施策項目	安全・安心な食づくりの推進						
	※総合戦略	みのり豊かなあつまー農業の振興ー農業の成長産業化						

2 事業概要 (Plan)

事業の目的	共進会・共励会の開催により町内畜産農家の家畜改良への意欲を高めることで、経営の安定化を目指す。
事業の内容 (手段・方法等)	<p>厚真町獣魂慰霊祭及び下記の各種共進会・共励会の開催及び出品に伴いJAとまこまい広域が負担する経費について、50%以内の額を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JAとまこまい広域酪農祭 ・胆振畜産共進会 ・北海道総合畜産共進会 ・北海道ホルスタインナショナルショウ ・シネティクス北海道黒毛和種枝肉共励会 ・日胆黒毛和種枝肉共励会 ・北海道枝肉共励会黒毛和種の部
対象	町内畜産農業者
成果目標	畜産農家の家畜改良の推進や、飼養管理技術の向上

3 実施結果 (Do)

① 事業費

単位：千円

事業費の推移	26年度実績 (評価対象前々年度)	27年度実績 (評価対象前年度)	28年度実績 (評価対象年度)	29年度予算 (評価実施年度)	適用
総事業費	204	187	126	267	
事業費	192	175	114	255	
特定財源					
国・道支出金					
町債					
その他					
一般財源	192	175	114	255	
人件費 (@4,000*時間数)	12	12	12	12	事務事業時間配分計算表(別紙)により算定
事業費の主な内訳					
旅費	3	2	3	5	
需用費					
役務費					
委託料					
負担金	189	173	111	250	

② 実績・成果

指標名称			26年度(実績)		27年度(実績)		28年度(見込)		37年度	
			(評価対象前年度)		(評価対象年度)		(評価実施年度)		(目標年度)	
			数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位
主な活動指標	家畜共進会・共励会出場戸数	目標	8	戸	8	戸	8	戸	8	戸
		実績	7	戸	5	戸	7	戸		戸
		達成度	88	%	63	%	88	%		%
※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する			肉牛 6 乳牛 1		肉牛 4 乳牛 1		肉牛 6 乳牛 1			
主な成果指標	入賞結果実績 (北海道家畜共進会・枝肉共励会出場)	目標	2	頭	2	頭	2	頭	2	頭
		実績	3	頭	2	頭	4	頭		頭
		達成度	150	%	100	%	200	%		%
※数値化できない成果や指標の変更等について記載する			肉牛 3		肉牛 2		肉牛 1 乳牛 3			

4 事業の評価 (Check)

評価項目	評価の視点	評価結果	説明
妥当性	事業主体・目的・対象・手段等は公平かつ妥当か?	A	家畜共進会・共励会の開催費用の実績に基づき負担金を支出しているもので、胆振管内の共進会・共励会出品農家を対象としており、公平性は保たれている。
有効性	期待される効果が得られるか?	A	共進会・共励会の実施により家畜改良への意識が高まる。それにより価格、品質の向上にもつながるため、期待される効果が得られている。
効率性	コスト面からみた費用対効果は適正か?	A	負担金を支出している行事については、地域畜産農家に根付いた身近なものであり、農家同士の情報交換の場も兼ねていることから、費用対効果は適正である。

※評価結果は、A：妥当である B：概ね妥当である C：あまり妥当でない D：妥当でない で評価する

5 今後の方向性・課題・改善提案等

予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	現状維持
理由	予算・サービスについては、行事の毎年の開催に合わせて負担金を支出しているため現状維持。方向性についても、開催経費の負担金補助という形で現状維持。				
課題および改善提案	農家戸数の減少により出品者に偏りが生じているため、主催者によるPR活動により出品者の戸数を増やしていく努力が必要である。				

※予算・サービスは「継続(拡大・現状維持・縮小)」および「終了」から、方向性は「拡大」「現状維持」「縮小」「終了」から選択。

6 評価 (本欄は、理事者ヒアリング・内部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください)

予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	現状維持
意見					

7 外部評価委員会評価結果

予算	継続（現状維持）	サービス	継続（現状維持）	方向性	現状維持
附帯意見	<ul style="list-style-type: none"> 参加者に偏りがみられるため、個々の農家に参加を働きかけるなど、参加者の増加を推進すべき。 				
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> 事業名から事業内容を連想しづらい（何の共進会かわからない）ため、事業名の前に”畜産”をつけるなど工夫すべき。 				

評価に対する町の考え方

- 高齢化及び後継者不足等により、共進会・共励会への出陳の際の家畜の輸送や審査時の誘導が困難な畜産農家が増えていますが、参加可能な農家については、呼び掛けを行い、共進会・共励会に対する意識の向上を図るとともに、町の各種支援事業の活用を推進し、家畜改良の意識の向上に努めます。
- 事業名については、予算の科目において畜産業費に計上されているため、現状のままとするが、事業説明や評価の際には認識し易い事業名を表記することとします。